

## 第1希望合格に向けて全力を尽くそう！

いよいよ3学期が始まりました。この冬休みから学習にしっかり向き合っていたことだと思います。昨年の三者懇談で、自分が一番進学したいと思う高校を第1希望と決め、第2希望以下の高校も考えたのではないのでしょうか。よく考えてみれば、卒業まで2ヶ月となりました。三中卒業後の自分の進路先をイメージしながら、努力していきましょう。

さて、自分で決めた第1希望の高校です。担任の先生からは、その合格可能性について、様々な角度からアドバイスもらったとは思いますが、最も重要なのは、自分で決めた第1希望を決してあきらめないということです。何が何でも合格したいという気持ちです。しかし、気持ちだけでは合格はできません。いかに着実に学習を積み重ねるかだと思います。質と量です。

**第一に、質をどう高めるかです。** そのために、「分からないことを尋ねることができる人」の存在が必要です。それは、友だちかもしれないし、先生かもしれない、それ以外の人かもしれません。とにかく人に頼ることで、何でも一人でやろうとしてはいけません。分からないのに「分かたたりふりをする」「黙って答を見て○つけする」のは、勉強ではありません。こういったやり方は、この後に及んで言えば、時間の無駄です。これは、朝学習であろうが授業であろうが、学習に関することはすべて同じです。また、何をどう学習すればいいのかの的確なアドバイスが必要です、いくら勉強していても、的外れな学習をしていれば力になりません。これは、教科の先生であれば、「この内容を中心に」「この部分は軽く」「この部分は時間をかけて」「この部分を理解するコツは・・・」など、ポイントを押さえて伝えてくださるはずで

**第二に、学習の量をどう増やすかです。** 今の時期は、学習の質と同時に、量が絶対的に必要です。少ない学習量で理解でき、得点力がアップできればいいのですが、量をこなすこと・反復して学習することが必要です。学校下校後の学習は、少なくとも5時間はやりましょう。朝早く登校して学習していた先輩たちもたくさんいました。家で学習するより集中できる、生活のリズムが朝型になるなどのメリットがあります。入試は朝から始まることを考えれば、今から朝型にすべきでしょう。また、学校に登校していると、休み時間や放課後の時間などを利用すれば、分からないことを友だちや先生に尋ねることもできます。放課後、担任の先生が配付する学習プリントを毎日3枚、4枚と頑張っている先輩たちもいました。

そして、**第三に、学校こそが、勉強の場であり、人として成長する場です。** 受検(受験)は、みなさんにとってこれまでの人生の中で、一番大変なことだと思います。それをふまえて、よく考えてみてください。

大きな話をします。人は、みんながしんどいときどんな行動を取るのでしょうか？私は、1995年に発生した阪神淡路大震災を覚えています。京都に住んでいましたが、私のような者でも思い、できることをやりました。当時の住民のみなさんや中学生、特に中3生の状況を阪神地方の先生に聞きました。一言で言えば、「みんながしんどいとき、協力し助けあうように人間は行動する」ということです。受検(受験)もみんなが不安です。「大丈夫かな？合格できるかな？過去問やっても点数上がらへん。」、これはあなただけが思っているわけではありません。みんなが感じている不安です。だからこそ、助け合うしかないのです。「勉強とはみんなと一緒に一人で勉強する」もので

す。最終的には、一人でやるものだけれど、そのプロセスの中には、多くの仲間と関わる瞬間が数多くあります。一人で入試問題を徹底してやった方がいいと思って、家で一人で勉強する人がいますが、あまり感心しません。これまでそういったことを経験した卒業生に聞くと、「勉強しなあかんとって、一人で家で勉強しても、最初のうちはなんか新鮮でやる気も出たけど、だんだん不安になってきて、やっぱり学校でみんなと一緒に過ごす方がよっぽどましと思うようになった。」とほとんどの人が言っています。もちろん、それでも合格するかもしれませんが。学力という物差しでは、高等学校に進学はできますが、「しんどいときにはまわりの人と助け合いながら乗り越えていく」という経験を経ないまま、進学することになるあなたの高校入学後の人生を心配します。また、スポーツが優秀・学力が優秀であることは、これからの自分の人生にとって、努力の成果であり、大きな財産ですが、それだけでいいのなかなと常に考えながら、生きていってほしいと思います。

## 私立高校の願書などの書類、公立前期選抜の願書等、自分の進路に関わる書類について遅れることなく提出しよう！

3学期が始まって、高校受検(受験)のための書類の提出が必要になります。出願については、当然期限がありますので、担任の先生の指示にしたがって、提出してください。基本的には、「下書き→点検→返し・清書→点検→返し→出願」といった流れで、間違いのないように確認していきます。間違いがあれば、受験資格を失うことになりかねないので、何度も多くの人の手で、点検をしています。みなさんも自分の進路に関わって、自分がしなければならないことは間違いなくやりきってください！

## 京阪神私立高校の出願に向けて

2月10日を中心に行われる京阪神地区の私立高校の出願については、本校は以下のようになります。

- ①最も出願校が多い1月18日午後を一斉出願日にします。
- ②18日段階で、出願期間がまだの高校が一部あります。それらの高校については、基本的に提出期間の初日に出願してください。もし家庭の事情等で別日にということであれば、担任の先生に、その旨申し出て下さい。
- ③今回の出願は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、窓口出願のみの高校以外は、基本的には郵送とします。また、本校から受験者多数の高校、具体的には、大谷・京都成章・京都明徳の3校については、先生達がまとめて高校に持参することにします。
- ④窓口の場合は、時間の期限が決まられていますのでよく調べて注意して下さい。また、土曜日でも出願可の高校もありますので、必要なら調べることを。
- ⑤出願報告書の提出が必要です。担任の先生からもらって下さい。複数校受験の人は、その分だけ必要です。
- ⑥また、それぞれの出願に際して、下校時間を指定します。特に、遠方の高校に窓口出願する場合は、担任の先生と相談して下さい。
- ⑦出願に関わっての注意事項は、進路通信に掲載します。しっかり読んで下さい。

**くれぐれも健康に気をつけて朝型の生活リズムを確立しましょう！  
授業に集中して、気持ちを引き締めて元気よく過ごそう！**

